

東急目黒線の乗降者数の推移



令和3年5月20日



株式会社リアルプロ・ホールディングス

東急目黒線は1923年（大正12年）3月11日に目黒線として「目黒駅」～「丸子駅（現：沼部駅）」間が開業しました。同年11月1日に「丸子駅」～「蒲田駅」間が開業し、全線が開通し、目蒲線に改称しました。東急目蒲線は、東急電鉄の「発祥路線」で、現在の田園調布や洗足などの住宅地開発にあたり、目黒蒲田電鉄が最初が開業した路線の一部です。都心との交通を確保するために建設されました。目黒線は目黒を名乗っていますが、目黒区はほとんど通らず、主に品川区と大田区の住民を中心とした足となっています。

1994年（平成6年）～1997年（平成9年）にかけて「田園調布駅」等が地下化され、2000年（平成12年）8月6日に目蒲線から「目黒駅」～「田園調布駅」間を分離して、目黒線に改称し、ワンマン運転を開始、同年9月26日には南北線と三田線との相互直通運転を開始しました。2001年（平成13年）3月28日には南北線を介して埼玉高速鉄道線との相互直通運転を開始しました。

東急目黒線は、2000年8月に目蒲線が「目黒駅」～「多摩川駅」～「武蔵小杉駅」間と「多摩川駅」～「蒲田駅」間の2つの路線に分かれ、「目黒駅」～「武蔵小杉駅」間が目黒線になりました。2000年9月に目黒駅で南北線・三田線と相互直通運転を、2001年3月からは南北線経由で埼玉高速鉄道線と相互直通運転を実施しています。2006年9月には急行運転を開始しました。列車編成は急行・各駅停車ともに大型20m車6両となっています。

2008年6月22日には目黒線「武蔵小杉駅」～「日吉駅」まで延長し、2008年3月30日に開業した横浜地下鉄グリーンラインとの乗換駅である「日吉駅」の利便性が向上しました。またこれに伴い急行電車等を増発しています。東急目黒線は「田園調布駅」と「日吉駅」間は東京東横線のバイパス機能を果たしています。

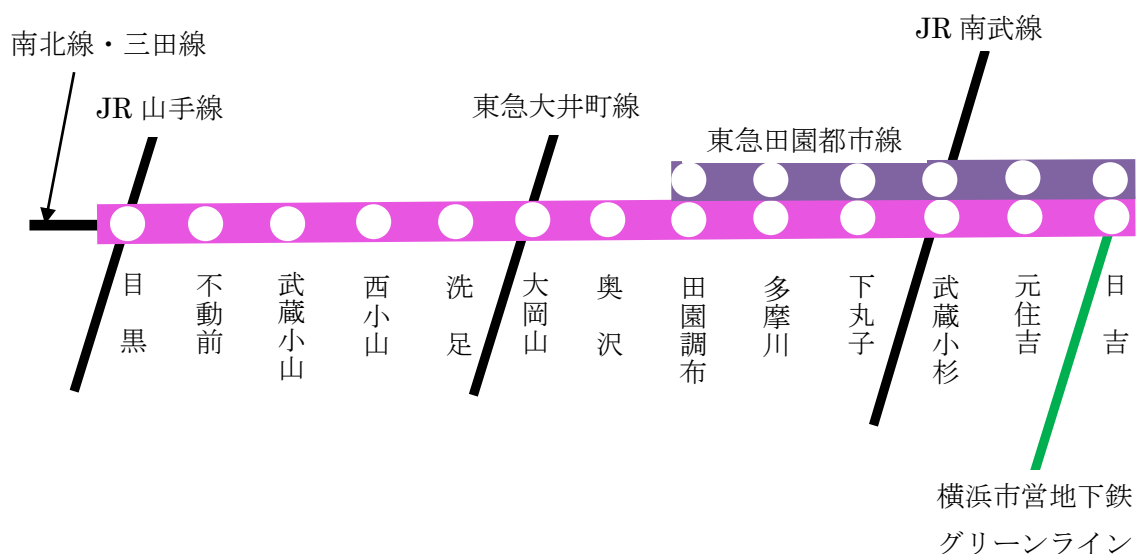
東急目黒線は東京都品川区「目黒駅」と神奈川県横浜市港北区「日吉駅」を結ぶ路線です。

東急目黒線は人気路線のため、乗降者数は安定しています。

営業キロ数 11.9 km

駅数 13 駅

【東急目黒線の路線図】



【東急目黒線の1日平均乗降者数の推移】

駅名	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
目黒	259,832	267,662	276,680	285,661	286,145	185,621
不動前	29,492	29,964	30,805	31,317	31,573	23,005
武蔵小山	52,142	52,369	53,186	53,952	53,193	39,864
西小山	36,416	37,052	37,508	37,686	37,342	26,545
洗足	14,630	14,863	14,903	15,146	14,898	10,905
大岡山	21,019	21,607	21,955	22,287	21,759	13,212
奥沢	13,738	13,879	14,198	14,312	14,010	9,800
田園調布	12,143	12,472	12,740	12,754	12,572	8,612
多摩川	3,627	3,745	3,873	3,759	3,789	2,630
新丸子	6,171	6,368	6,661	6,814	6,884	5,248
武蔵小杉	45,766	47,615	48,857	49,681	49,842	33,778
元住吉	17,651	18,378	19,318	20,304	20,804	14,477
日吉	50,339	52,468	54,632	56,473	57,438	36,219
計	562,966	578,442	595,316	610,146	610,249	409,916

